THE KŌHŌ NANKOKU

広報ナンコク

市の動態

人口 43,263人（男 20,873人 女 22,390人）

世帯数 11,073戸

	戸数	人口
本庁	5,883戸	22,239人
三和	2,213戸	9,337人
領石	1,447戸	5,588人
岡豊	821戸	3,235人
十市	709戸	2,864人

第４８号
（毎月1回　全戸配布）
編集発行　南国市広報委員会
事務所　高知県南国市役所内（電話２１１１番）
印刷　川北印刷工業ＫＫ（電　２３７９番）

すべり出した 市議会議員選
きれいな選挙に

宣言に恥じない 市民気風を生もう

いよいよ待望の市議会議員選はこの三十一日に行なわれ、新しい選良の顔ぶれが十一月一日の開票によって決まる。そこで、公明選挙の都市宣言を汚すことのないよう、立候補予定者たちのあつまりを利用し、十日午後三時半から五時まで、一般の人たちを交え、宣言後始めての選挙について話し合ってみた。立候補予定者とみなされる人たちの出席者は二十人あまりであった。

▼警察は、いつも選挙前には厳重に取締るというが、いざふたをあけてみると、ふし穴同然となる。これではただ市民を威かくしているだけではないか。

▼取締りをするならするで褌を締めてかかってもらいたい。正しく信頼のできる警察であって　市民や、運動をむやみに委縮させないよう充分気を付けてもらいたい。

▼これまでの結果からみれば、正直者が馬鹿をみる例が非常に多い、本当にやる気があるのかないのか、口先だけでなくしっかり取締ってもらいたい。

▼こんどの市議会議員選には、立候補者が少なく低調だといわれるが、選挙は水物だ、候補者自身は最後まで気を許すことはできない。

▼取締りをどこまでやるのか、警察は本腰を入れる心づもりでいるのか、いままでの選挙戦であったことのないよう署に対し、注文もし要望もしたい……。

＝署にも出席願っていたが、公務のため出席できないとの連絡があった。みなさんの意向は署へおつたえする。

選挙をきれいにすすめるためには

▼婦人会は、青年とともに常日頃からきれいな選挙を心掛け、その努力をしている。この前の市政会議では議員の赤裸裸な話も出て、正直だなと感じました本当だなと感じたことがある。

▼それは候補者ばかりでなく、有権者の方から汚なくするよう仕向けているということである。部落に町で、なにごとかあると寄附を強要し、満足に出さなければ出さないでケチンボーとくる、あげくの果てはあれはいかん奴だと排斥されるということである。少し野心のあるものはそれがいやだから出さざるを得ない。このようなことのないよう有権者は充分考え不必要な寄附行為を強制しないことである。

▼そのようなことが市政や選挙を汚す原因となる、だから候補者自身も強い信念を持って、市民を逆に啓蒙してゆく立場に立ってもらいたいものだ。……

▼市民を指導してゆく立場の議員が、議会のあるポスト争いに相当多額の経費をつぎ、公明でなかったということがある。

▼私しの知っている範囲ではそんなことはなかった。ましてそんな相談を受けたことはない。

▼そういうムードがあったことは知っている。

しかし、議会全体がそしりを受けることは実になさけない、かぎられた一部の人たちのため、そのように議会全体をみてもらいたくない。

▼絶対になかったとはいえないだからこそ議会も反省し、県下にさきがけて公明選挙の都市宣言をした。

これからの選挙をきれいなものにしたいと努力している。

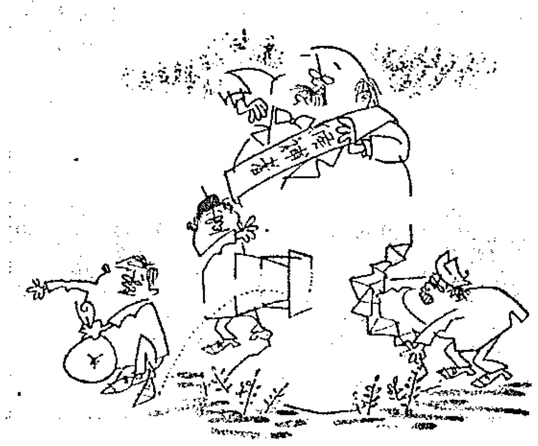
▼議会内部にそのようなことが一つでもあれば議会をよごすものだ、日本人ほど偉らい人でも、常識のある人であっても悪るいことをし、また、それを見逃がしている国はないといわれている。

▼議会が汚されたということは、選挙戦そのものが汚されていたからではなかろうか、選挙そのものが正しければ紐のない、正しく、明るい市政ができるといえよう。

▼現職の議員が宣言をしたが、現職議員のみでなく、市民全体の気持ちであってほしいものだ。

▼こんどの市議戦でははやくから事前運動らしきものが盛んだといわれ、告示があるまでが勝負の分かれ目で、あとは紐を締めてゆくだけだとか、……あと十日間の事前運動はみものだと思う。

▼立候補者が少なく低調というが、数の上では少なくてもそれだけ立派な人がそろったといえるのではないか。



候補者にたかつてはいけない

（マンガは滝谷節雄作）

立会演説会や 意見発表の場を 選挙公報など

▼選挙法の改正をしてもらいたい。現行の選挙法では乗用自動車に限られているが、国や、県の選挙であればともかく、たかが町村に毛の生えた市の選挙に乗用自動車でなければならないというのは、候補者にとってつらい規定だ、法定費用の額からいっても、従来通り三輪自動車であってもよいのではなかろうか。

▼事前運動に風呂敷や、タオルなどを配ったり、供応したりなどするものがあるときくが、市民が公明選挙に徹して、違反行為と思われることはたとえタオル一本であっても、風呂敷や供応であっても、警察に連絡し市民全体が協力することが、公明選挙への第一歩ではなかろうか。

▼市には公明選挙の経費や人員が少なく、公明選挙活動ができないというが、せめて立会演説会や、市の選挙公報を発行するなり、公の場で意見の発表ができる場を作ってもらいたい。

▼広報や、婦人、青年団などが市民に接触できるような機会を作ってほしい。できれば将来移動市議会とか、移動市役所などを開らくなど少しでも明るく、しあわせのある南国市政に努力することもよいことではないだろうか。

▼過去の選挙においても、法の一歩手前までゆくか、ゆかないかの線までゆくことがあった、そういうときにはどしどし警告を出してもらいたい。

▼単に、候補者がお願いしますだけでは公明選挙ではなく、候補者の意見や抱負を知らすことが大事である。

▼立候補予定者に不心得な行動をとるものがあり、金や物で地盤を荒らされるとなんとかしなければ、という気持ちになってくる。お互に他の地盤を荒らさないことにお願いしたいものだ。……

▼ともかく立派な人を選んでもらいたい、いままでの経験からいって〃悪るい奴ほどよく眠る〃式のきたない人があんがいあがってくるものだ。

▼タオルが飛んだ、皿鉢がガチャガチャでは政治ではない。そのようなものは排するようお互が見守ってゆくべきだ。違反したら恥しいという気風をみんながつくるべきだ、

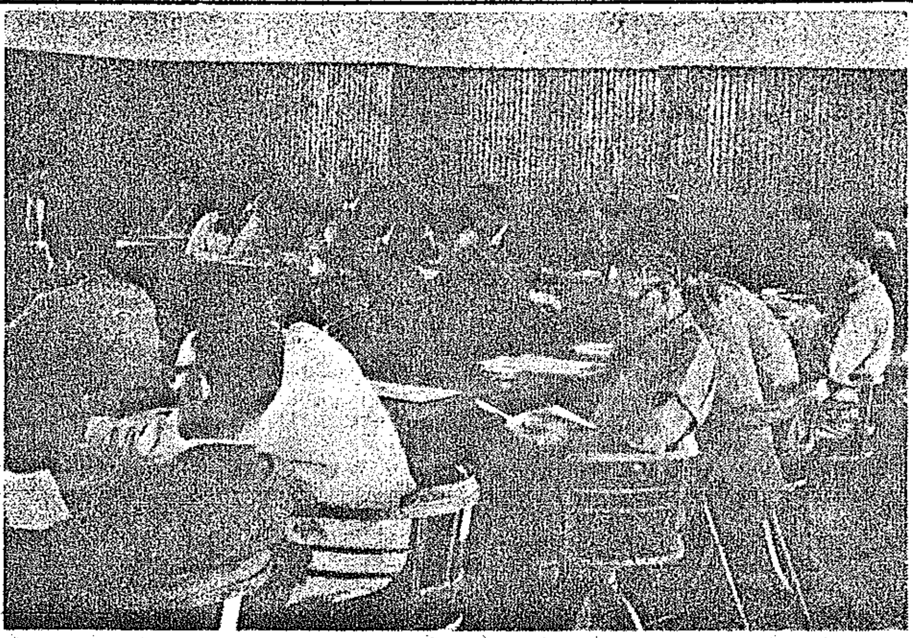
▼選挙が近づいた関係か、いままでかなりえなかった道路に砂利を入れたり、補修したりしている。選挙とは関係ないかも知れないが時期からしてどうも。……

▼市民の多くは、市政というものを知らなさ過ぎる、地方自治は、民主政治の一番の要素であり、県や、国につながりはあっても、なんら従属すべきものではない、だからイデオロギーの問題でもなく、政党などにも関係はない、住民の手により自治行政を行なうものであることを知ってもらいたい。

まだまだ意見のある希望者が多数あったが時間の都合で打ちきる。

口の人よりまことの人へ

（マンガは森吉正照作）



市議選挙の 周知説明会 開らかる

10月31日に行なわれる市議会議員の選挙にさいして、市選挙管理委員会では立候補を予定されている人たち（または代理者）30数人を市会議室にあつめ、10日の午後1時から、立候補届の仕方や、選挙法の説明、運動の仕方などくわしく周知説明会をひらいた。

これは県下にもめずらしいことであり、立候補を予定されている人たちも熱心に聴講した。これは公明選挙を予定されている人たちに意識つけようとしたもの。

（写真は、同説明会で真剣に聞きいる立候補の予定者たち）

こだま

衆議院の解散も真近くことしの末は、市議、知事とならんで三度び選挙が行なわれる公算が大である。▼ところで市が公明選挙の都市宣言を行なって始めての選挙に、市議会議員選の行なわれることは意義深いものである。ともあれいづれの選挙の場合でも当選者のほとんどのものが、正しく戦ったという。▼しかし、違反事件があとをたたないのがこれまでの選挙の結果である。ただ、運動員そのもののやり方にあくどいことがあったまでのことで、候補者自身は知らないという類のものが多い、これは選挙民たるわれわれを偽まんしたのもはなはだしいものだ、かかることのないよう正正堂堂と、金を使わず人をだまさず、きよい選挙で市議選を戦ってもらいたいものだ。▼とはいうものの、早やくも事前運動らしきものの行なわれていることが伝えられている。これでは、なんの宣言かわかったものではない、宣言があろうが、なかろうが選挙法にふれることはけっしてよいことではない。▼婦人が行なった市政会議でも、広報の座談会でも現職議員さんたちは、一たび口をひらけばきれいな選挙をすすめるという、だが、他のものが自分の地盤を金や、物力でせめてくるならば、自衛上なんらかの手を打たねばという。その自衛の手段とはいったいいかなるものか、決して明言はされない。そこになんらかの底流があるのではないかとうかがってみたくなる。▼ともかく有権者もまどわされることなく、候補者の一人一人をよく吟味しくいのない自信をもって正しい選挙をすることである。違反のないあかるい市政の行なわれるまちをお互の力で作りたいものだ。